



2025年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年2月4日

上場会社名 高千穂交易株式会社 上場取引所 東
コード番号 2676 URL <https://www.takachiho-kk.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 井出 尊信
問合せ先責任者 (役職名) 管理部長 (氏名) 岩本 昌也 TEL 03-3355-1111
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第3四半期の連結業績（2024年4月1日～2024年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第3四半期	19,648	3.6	1,362	39.0	1,441	13.7	1,071	4.8
2024年3月期第3四半期	18,960	12.0	980	5.4	1,267	8.0	1,021	24.1

(注) 包括利益 2025年3月期第3四半期 1,213百万円 (△3.1%) 2024年3月期第3四半期 1,251百万円 (6.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第3四半期	116.55	116.41
2024年3月期第3四半期	112.66	112.24

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年3月期第3四半期	22,487	16,552	73.6	1,779.99
2024年3月期	22,963	16,835	73.3	1,851.62

(参考) 自己資本 2025年3月期第3四半期 16,552百万円 2024年3月期 16,830百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	53.00	—	105.00	158.00
2025年3月期	—	58.00	—	—	—
2025年3月期（予想）	—	—	—	102.00	160.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	26,900	6.6	2,050	39.9	2,000	8.9	1,490	3.6	162.13

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
 - ② ①以外の会計方針の変更：無
 - ③ 会計上の見積りの変更：無
 - ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年3月期3Q	10,171,800株	2024年3月期	10,171,800株
② 期末自己株式数	2025年3月期3Q	872,766株	2024年3月期	1,082,132株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2025年3月期3Q	9,190,410株	2024年3月期3Q	9,070,983株

（注）期末自己株式数には、「株式給付信託（BBT）」制度に係る信託財産として、株式会社日本カストディ銀行（信託E口）が保有する当社株式（2024年3月期57,900株、2025年3月期3Q57,900株）が含まれております。また、期中平均株式数の算定上控除する自己株式数には、「株式給付信託（BBT）」制度に係る信託財産として、株式会社日本カストディ銀行（信託E口）が保有する当社株式（2024年3月期3Q57,900株、2025年3月期3Q57,900株）が含まれております。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

（決算補足説明資料の入手方法）

決算補足説明資料はT D n e t で同日開示しています。
また、2025年2月4日（火）に当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	8
(収益認識関係)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(重要な後発事象)	9

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、一部に足踏みが残るものの、緩やかに回復しております。先行きについては、雇用・所得環境が改善する下で、各種政策の効果により緩やかな回復が続くことが期待されます。ただし、欧米での高い金利水準の継続や、中国での不動産市場の停滞の継続に伴う影響など、海外景気の下振れが我が国の景気を下押しするリスクとなっております。また、資材価格の高騰、米国の今後の政策動向、中東地域をめぐる情勢、金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要があります。

当社グループの市場環境は引き続き競争激化の状況にありますが、持続的な成長と中長期的な企業価値向上を見据え、コア領域における高収益事業の拡大及びサービスビジネスの成長や新事業・新ビジネスモデルの創出を図っております。

具体的には、クラウドサービス&サポートセグメントでは、MSPサービスの拡大及びクラウド型商品・サービス等の拡充や新たな市場開拓に加え、保守サービスの拡大を図っております。

システムセグメントでは、主要商品である商品監視システム、CCTVや入退室管理システムなどセキュリティ商品の販売強化や付加価値強化、及び顔認証システムなどの画像認識やRFIDシステム、省人化システムなどのリテールソリューションの拡大を図っております。

他方、デバイスセグメントでは、エレクトロニクス事業においては主に通信インフラ市場、IoTを主とした産業機器市場、プリンター等ビジネス機器市場やアミューズメント市場への拡販及びソリューションビジネスの拡大、またメカトロニクス事業では、引き続き成長が見込まれる半導体製造装置等の産業機器市場、国内、及び北米へのキッチン等の住宅設備向け機構部品の販売、アミューズメント市場への拡販やユニット商品の開発などに注力しております。

このような状況の中、当第3四半期連結累計期間の経営成績は、売上高は、クラウドサービス&サポート商品類のサブスクリプション型ビジネスの契約数の増加や大型保守契約を獲得したことに加え、メカトロニクス商品類の販売が好調に推移したこと等により、前年同期比3.6%増の196億48百万円となりました。

損益につきましては、上記理由により、営業利益は前年同期比39.0%増の13億62百万円、経常利益は前年同期比13.7%増の14億41百万円となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期比4.8%増の10億71百万円となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

第1四半期連結会計期間より、クラウド型ネットワーク商品の実績を、サブスクリプション型の重要性が増したこと等を理由に、システムセグメント（ビジネスソリューション商品類・リテールソリューション商品類）からクラウドサービス&サポートセグメントへの集計に異動しております。

(クラウドサービス&サポートセグメント)

クラウドサービス&サポートセグメントは、売上高は、MSPサービスやクラウド型ネットワーク商品の契約数の増加、及び大型保守契約の獲得により順調に推移し、前年同期比43.1%増の25億67百万円となりました。営業利益は、上記理由に加え、売上高に対する販売費及び一般管理費の割合が下がり、前年同期比68.2%増の5億65百万円となりました。

(※MSPサービス：クラウド商品の保守運用・稼働監視をサブスクリプション型で行う当社独自のサービス)

(システムセグメント)

システムセグメントの売上高は、前年同期比0.4%増の69億9百万円、営業利益は、前期発生した追加工事に関する費用が当第3四半期連結累計期間は発生しなかったこと等により、前年同期と比較して3億21百万円増加し、76百万円となりました。

リテールソリューション商品類は、GMS向け大型案件が好調に推移し、売上高は前年同期比0.3%増の23億92百万円となりました。

ビジネスソリューション商品類は、外資オフィス向け入退室管理システムや監視カメラシステムが好調に推移した一方、前期好調だったメーリングシステムの納品が減少したことなどにより、売上高は前年同期比1.1%減の23億5百万円となりました。

なお、第1四半期連結会計期間よりシステムセグメントからクラウドサービス&サポートセグメントへ異動したクラウド型ネットワーク商品の売上高に関し、前年同期はシステムセグメントに3億84百万円含まれております。

グローバル商品類は、防火システムにおいて収益性の高い案件に注力したことにより売上高は減少した一方で、円安による円換算での収益が増加し、前年同期比2.2%増の22億11百万円となりました。

(デバイスセグメント)

デバイスセグメントの売上高は、前年同期比1.1%減の101億72百万円、営業利益は前年同期比18.9%減の7億20百万円となりました。

エレクトロニクス商品類では、コンシューマやビジネス機器向け電子部品の販売が好調に推移するも、顧客の生産調整が続いていることにより、売上高は前年同期比7.4%減の63億97百万円となりました。

メカトロニクス商品類では、新紙幣改刷による銀行端末向け機構部品や複合機向け機構部品、及び自社開発したキッチン向け部品の販売が好調に推移し、売上高は前年同期比11.9%増の37億75百万円となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比べ4億76百万円減少し、224億87百万円となりました。これは投資有価証券が3億36百万円増加した一方で、商品及び製品が6億79百万円減少したことなどによるものです。

他方、負債は、前連結会計年度末と比べ1億92百万円減少し、59億35百万円となりました。これは短期借入金5億円、未払金が83百万円、契約負債が72百万円増加した一方で、未払法人税等が4億91百万円、買掛金が3億74百万円減少したことなどによるものです。

純資産は前連結会計年度末と比べ2億83百万円減少し、165億52百万円となりました。これは為替換算調整勘定が2億63百万円増加した一方で、親会社株主に帰属する四半期純利益10億71百万円、配当金の支払15億3百万円などにより、利益剰余金が4億32百万円、資本剰余金が1億91百万円減少したことなどによるものです。自己資本比率は前連結会計年度末から0.3ポイント上昇し、73.6%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、「2024年3月期決算短信〔日本基準〕(連結)」(2024年5月10日公表)で発表いたしました数値から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,871	4,965
受取手形	128	97
売掛金	5,609	5,414
契約資産	716	471
電子記録債権	848	962
商品及び製品	5,143	4,463
原材料	217	134
前払費用	1,240	1,359
その他	114	236
貸倒引当金	△2	△22
流動資産合計	18,887	18,083
固定資産		
有形固定資産	459	419
無形固定資産	171	138
投資その他の資産		
投資有価証券	3,009	3,345
繰延税金資産	8	28
敷金及び保証金	325	332
その他	101	139
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	3,444	3,845
固定資産合計	4,075	4,404
資産合計	22,963	22,487

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,726	2,351
電子記録債務	198	207
契約負債	1,067	1,139
リース債務	10	10
為替予約	—	53
賞与引当金	302	199
役員賞与引当金	57	63
未払金	265	348
未払法人税等	540	49
短期借入金	—	500
その他	238	240
流動負債合計	5,407	5,165
固定負債		
役員株式給付引当金	21	29
退職給付に係る負債	619	638
リース債務	39	31
繰延税金負債	—	31
その他	38	37
固定負債合計	719	769
負債合計	6,127	5,935
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,209	1,209
資本剰余金	1,381	1,189
利益剰余金	13,938	13,506
自己株式	△1,064	△861
株主資本合計	15,464	15,044
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	911	794
繰延ヘッジ損益	—	9
為替換算調整勘定	394	658
退職給付に係る調整累計額	60	46
その他の包括利益累計額合計	1,366	1,508
新株予約権	4	—
非支配株主持分	0	0
純資産合計	16,835	16,552
負債純資産合計	22,963	22,487

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
売上高	18,960	19,648
売上原価	14,577	14,699
売上総利益	4,382	4,949
販売費及び一般管理費	3,402	3,586
営業利益	980	1,362
営業外収益		
受取利息	22	28
受取配当金	63	55
為替差益	206	27
受取保険金	2	2
その他	17	14
営業外収益合計	313	127
営業外費用		
支払利息	—	2
支払手数料	1	0
投資事業組合運用損	22	38
その他	1	7
営業外費用合計	25	49
経常利益	1,267	1,441
特別利益		
新株予約権戻入益	—	3
投資有価証券売却益	280	52
特別利益合計	280	55
税金等調整前四半期純利益	1,548	1,496
法人税、住民税及び事業税	461	371
法人税等調整額	64	54
法人税等合計	526	425
四半期純利益	1,021	1,071
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,021	1,071

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
四半期純利益	1,021	1,071
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	45	△117
繰延ヘッジ損益	—	9
為替換算調整勘定	191	263
退職給付に係る調整額	△7	△13
その他の包括利益合計	230	142
四半期包括利益	1,251	1,213
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,251	1,213

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
減価償却費	149百万円	146百万円

(セグメント情報等の注記)

I 前第3四半期連結累計期間（自 2023年4月1日 至 2023年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	クラウドサービス&サポート	システム	デバイス	合計	調整額	四半期連結損益計算書計上額
売上高						
外部顧客への売上高	1,793	6,881	10,285	18,960	—	18,960
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	1,793	6,881	10,285	18,960	—	18,960
セグメント利益又は損失(△)	336	△244	888	980	—	980

II 当第3四半期連結累計期間（自 2024年4月1日 至 2024年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	クラウドサービス&サポート	システム	デバイス	合計	調整額	四半期連結損益計算書計上額
売上高						
外部顧客への売上高	2,567	6,909	10,172	19,648	—	19,648
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	2,567	6,909	10,172	19,648	—	19,648
セグメント利益	565	76	720	1,362	—	1,362

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、クラウド型ネットワーク商品の実績を、「システムセグメント」から「クラウドサービス&サポートセグメント」に異動しております。これは、当該商品の販売契約に占めるサブスクリプションの重要性が増したことに伴う異動であります。なお、第1四半期連結会計期間より「システムセグメント」から「クラウドサービス&サポートセグメント」へ異動したクラウド型ネットワーク商品の売上高およびセグメント利益に関し、前第3四半期連結累計期間は「システムセグメント」の売上高に384百万円、セグメント利益に24百万円含まれております。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を、商品類別に分解した情報は次のとおりであります。

(単位：百万円)

区分	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
クラウドサービス&サポート商品類	1,793	2,567
クラウドサービス&サポート 計	1,793	2,567
リテールソリューション商品類	2,385	2,392
ビジネスソリューション商品類	2,331	2,305
グローバル商品類	2,164	2,211
システム 計	6,881	6,909
エレクトロニクス商品類	6,911	6,397
メカトロニクス商品類	3,374	3,775
デバイス 計	10,285	10,172
顧客との契約から生じる収益	18,960	19,648
その他の収益	—	—
外部顧客への売上高	18,960	19,648

第1四半期連結会計期間より、クラウド型ネットワーク商品の実績を、「システムセグメント(ビジネスソリューション商品類・リテールソリューション商品類)」から「クラウドサービス&サポートセグメント」に異動しております。詳細につきましては、「注記事項(セグメント情報等の注記)」に記載のとおりであります。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2024年5月17日開催の取締役会における決議に基づき、2024年8月23日付で、一般財団法人高千穂交易奨学財団へ第三者割当による自己株式200,000株の処分を行っております。当該自己株式の処分により、資本剰余金が194百万円、自己株式が194百万円減少しております。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。